

## 第67回日本学生科学賞 最終審査進出研究作品概要

JG010CE	中学	地学	兵庫県
学校名	神戸市立本山南中学校		
研究作品タイトル	空の観察と観天望気 ～竹田城跡の雲海に100%出逢いたい～		
研究者氏名 (共同の場合はグループ)	一村 花音		
指導教諭氏名	森田 惟美		

### 【動機】

雲があるから空は美しい、小学2年生の頃から毎日空を見上げ、空と雲の研究を続けている。今年度は、6年生時に立証した条件をブラッシュアップし、的中率100%の雲海予報を目指して、竹田城跡の雲海に必ず出逢える発生条件に迫った。

### 【方法】

6年生時に立証した2種類の条件をもとに、雲海予想を行い、自らもその予報で雲海に逢いに行った。予想をする中で、季節ごとの条件があるのではないかという新たな可能性が出てきたため、仮説を立てて検証を試みた。

### 【結果】

仮説を立てた季節ごとの発生条件に加え、暖気流入による寒暖差が要因の条件なども追加され、現段階で雲海発生条件は9パターン存在していることがわかった。また、条件は秋揃いやすい。その他の季節も発生するがなかなか条件が揃わず、よい雲海にもなりにくかった。

### 【まとめ】

365日、100%の雲海んいはまだ十分でないが、確実に出る日を狙って竹田城跡の雲海に逢いに行くことは可能である。おススメは、最もよい雲海が湧きやすく、予想もしやすい、さらに一番見応えのある雲海が発生する秋型、冬型×秋型である。

### 【展望】

立証した条件は今年度限定の可能性もあるので、研究を続行し、より精度の高い条件にしたい。また、この条件を通して空や雲に興味を持ち、人々が空を見上げるきっかけとなれば、さまざまな異常気象にも気づけたり、減災にもつながるのではないかなと思う。